

Q&A 乳幼児教育相談・ 幼稚園への入学について

Q1 どんなお子さんが対象ですか？

A 視覚に心配のあるお子さんです。視力、視野などの見え方、目の動きや使い方など、お子さんの「目」のことについて不安を感じている保護者の方をご相談ください。

Q2 教育相談はどのようにして申し込みますか？

A 電話等にて直接お申し込み下さい。教育相談は随時行っておりますので、保護者の方と相談の上、日時を決めさせていただきます。その後、定期的な教育相談が必要な場合は、回数や時間帯、支援内容についても、担当者と相談の上決めていきます。

Q3 視覚に障害があっても地域の保育園、幼稚園に通わせたいと考えています。どのように対応していますか？

A 保育所に在籍したまま、本校幼稚園に入学して、支援を受けることができます。また、幼稚園に通っているお子さんに対しても、定期的に来校していただき、必要な支援を行うことができます。在籍する保育園、幼稚園に対しては、生活や遊びの場面における配慮や指導の工夫について情報提供していきます。

Q4 視覚の他にも障害がある場合、相談や支援を受け付けていますか？

A もちろんです。お子さんの発達・障害・生活の様子を全体的にみながら、一人一人に応じた支援を行っています。必要に応じて、他の支援機関と連携しながら、支援を進めていくこともあります。

Q5 相談の経費はかかりますか？

A 無料です。安心してご連絡ください。幼稚園入学後についても、就学奨励費により、負担はほとんどありません。



0歳児からの乳幼児教育相談 幼稚園入学相談 学校見学についてのご相談

下記までお気軽にご連絡ください。
乳幼児支援班・幼稚園が対応いたします。

〒010-1409

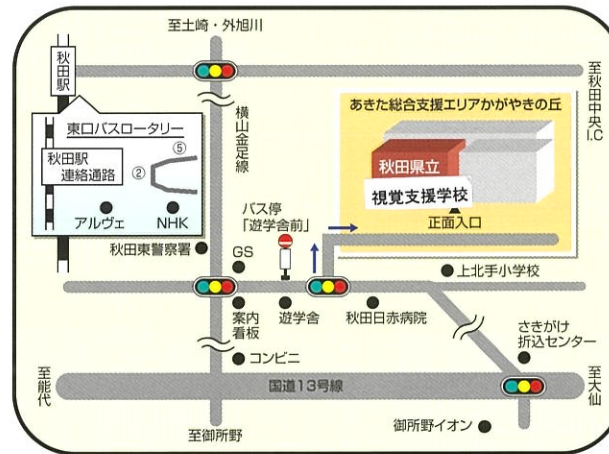
秋田県秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【電話】 018-889-8571

FAX 018-889-8575

<http://kagayaki.akita-pref.ed.jp/mou-s/>

E-mail: mou-s@akita-pref.ed.jp



交通アクセス

【秋田駅からバス利用の場合】

秋田駅東口バスロータリーで乗車（②番）

★南ヶ丘線「総合支援エリア」下車すぐ

★広面御所野線、新屋日赤病院線「遊学舎前」下車

→下車後、バスの進行方向に150m直進

→信号交差点を左折後、上り徒歩10分。

【自動車】秋田南I.Cから約14分

秋田中央I.Cから約15分

乳幼児教育相談・ 幼稚園のご案内



「見えにくい」「見える範囲が狭い」
「目の動きが気になる」ことがわかったら、
できるだけ早い時期から
相談を始めることが大切です。

ロービジョン支援センター 乳幼児支援班

秋田県立視覚支援学校

～ 見え方に応じた早期教育・相談支援 ～

一人一人の見え方に応じて、早期から視覚支援、発達の援助を行います。

乳幼児期に育みたい、こんな力や気持ち。

目でよく見よう



ピントの合った状態で、よく見る経験を積み、よりよく見える方法を身に付けます。必要に応じて、補助具の活用の仕方を学びます。(単眼鏡、拡大読書器、ルーペ他)



手で触ってみよう(確かめる)

自分の手を自由に使い、関心をもってものに触り、「知る力」を高めます。耳、口、鼻など、目以外の感覚器官も使って、状態や環境をとらえるようにします。

これ、なんていうの? どういう意味? どういうこと?

ものの名前、様子を表す言葉、動きを表す言葉など、体験を通して基礎的な概念を形成します。



自分を中心にした位置方向をとらえ、思い通りに身体を動かす力を高めます。

からだを、イメージ通りに動かそう



自分でやってみよう。身の回りのこと

食べる、着替える、トイレに行くなど、補助具等も工夫し、一つ一つの日常生活動作、習慣を身に付けていきます。

今どこにいるのかな。気をつけて歩こう

自分のいる場所、周囲の状況を確認しながら、気をつけて歩く力を養います。

医療・教育・福祉をつなぐ
視能訓練士、歩行指導員の専門的アドバイスを受けることができます。

幼稚部 (3・4・5歳児)

生活全体を通して、「見ること」「聞くこと」「触ること」を丁寧に支援します。遊びや体験活動を大切にして、一人一人の保有視覚・感覚を最大限に活用する力を伸ばし、社会性を育みます。



小集団活動 「朝の会」「リズム体操」「読み聞かせ」「自由遊び」「課題・設定遊び(造形・運動)」「散歩」他

個別指導(課題別学習) 個別のニーズに基づいて課題に取り組みます。自立活動を中心としています。

日常生活の指導 生活の各場面における基本的動作や習慣を身に付けます。

行事 季節や時期に応じた様々な行事があります。



よつば教室 (0歳児~)

【乳幼児教室/定期教育相談】

幼稚部と連携して支援を行います。発達段階に応じた遊びを通して、保有視覚を最大限に活用し、「見る」「確かめる」ことの楽しさを味わい、意欲を高めます。

小集団活動 乳幼児でグループを構成し、活動に応じて親子で参加します。「目の体操」「リズム遊び」「運動遊び」などに取り組みます。

個別指導 個別の指導計画を作成し、一人ひとりのニーズや課題に基づいて担当教員が支援にあたります。

保護者の方々への支援

お子さんの生活の充実と進路について一緒に考えていきます。

- 育児相談
- 保護者懇談会
- 保護者学習会
- 保育園・幼稚園訪問
- 発達検査
- 就学相談



幼稚園・保育園等への支援

お子さんのより良い環境づくりや進路選択について、関係機関と連携しながら支援にあたります。

- 所属する保育機関への支援
- 進路相談
- 保育園・幼稚園等への訪問
- 視覚障害・教育に関する情報発信